

幌延町の新エネルギー

太陽光発電事業を行っています

幌延町では、平成19年2月に「幌延町地域新エネルギービジョン」を策定し、地域特性を踏まえた新エネルギーの導入を目指しています。

新エネルギーとは、自然の力を利用したり、今まで使われずに捨てていたエネルギーを有効に使ったりしたものです。具体的には、「太陽光発電」「太陽熱利用」「風力発電」「バイオマス発電・熱利用」「バイオディーゼル燃料」「雪氷熱エネルギー」などがあります。幌延町では、すでに平成15年から『オトンレイ風力発電所』が稼動していますが、今年

は太陽光発電を公共施設

に導入しています。

幌延小学校で太陽光発電稼働

町内の公共施設の太陽光発電導入の第1号として、幌延小学校で9月下旬から太陽光発電が行われています。校庭内に設置された111枚の太陽光モジュール（太陽光パネル）と2台のパワーコンディショナーにより、最大19・98kWの電力を作り出すことができます。発電電力は、敷地内で使用するほか、休業期間中の余剰電力の売電も行います。

校内の生徒玄関には表

分の目で確認し、学んでいます。

問寒別小中学校などにも設置中

また、11月末には問寒別小中学校で整備中の太陽光発電も完成します。こちらは幌延小学校のものより少し規模が小さく、売電はしませんが、学校の蛍光灯点灯などに利用

されます。

その他、現在建設中の生涯学習センター、幌延町立診療所にも太陽光発電を導入することとなっています。

新エネルギーへの取組

今回、町内4ヶ所で導入される太陽光発電をはじめ、浜里地区の風力発電、役場公用車のハイブリット化など、町では新エネルギー導入への取組みを進めています。また、西天北五町衛生施設組合では西天北クリーンセンターにおいて生ゴミなどの有機廃棄物からバイオガスを回収し、活用しています。



▶ 幌延小学校の太陽光発電



▶ 校内の表示モニター